

ものづくりのDNAを引き継いで未来へ

Change the Future

～技術と創造力で新時代に新価値を提供します～

2022年3月期決算および中期経営計画

2022年5月12日



田中精密工業株式会社

TANAKA SEIMITSU KOGYO CO.,LTD.

NO	項目
I.	2022年3月期 決算概況
II.	2023年3月期 業績見通し
III.	2022年度～2026年度 中期経営計画

I.2022年3月期 連結決算概況



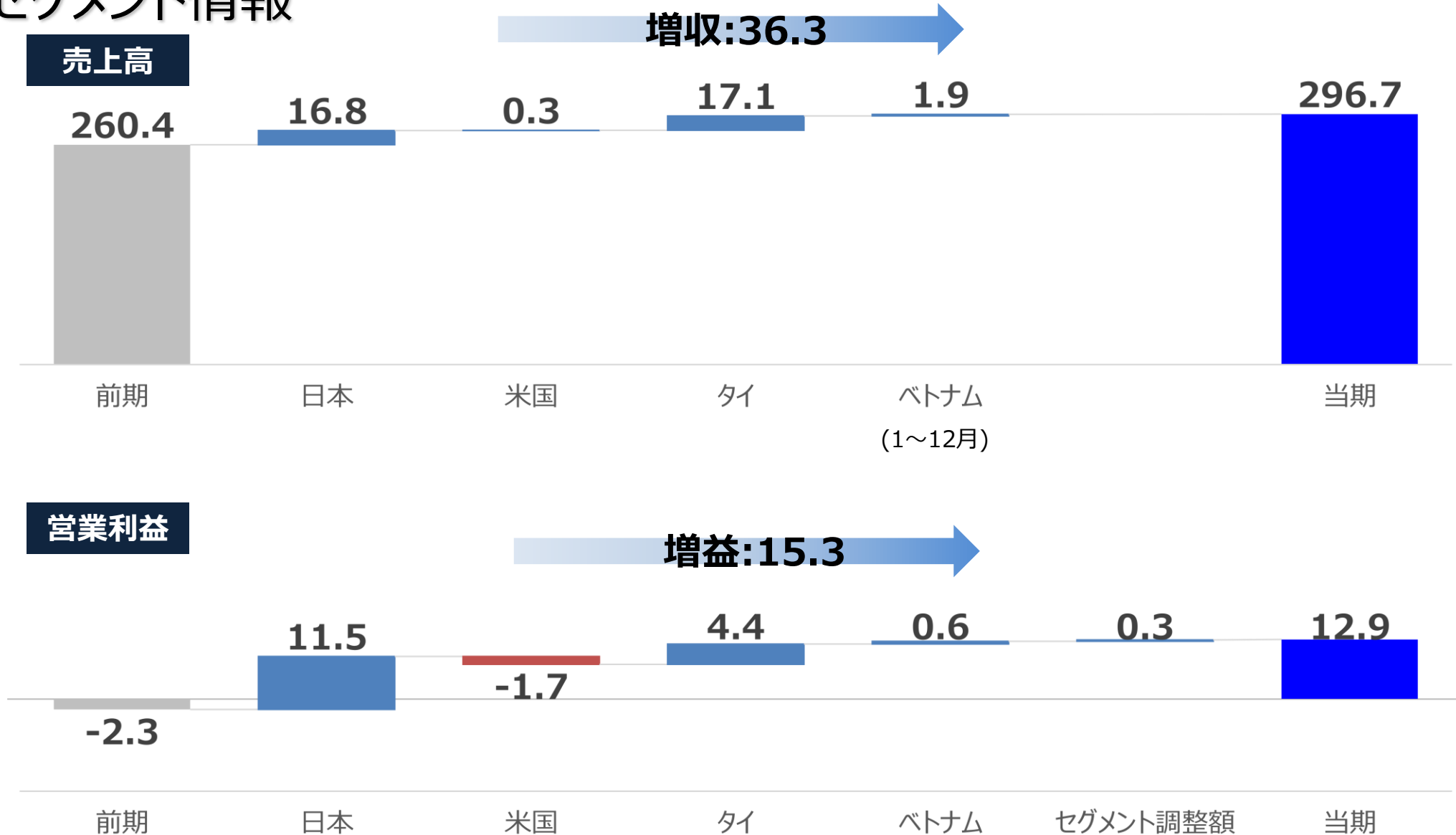
		前期	当期	差異	増減率
連結	売上高	26,041	29,671	3,630	13.9%
	営業利益	-239	1,297	1,537	-
	経常利益	-197	1,291	1,489	-
	親会社株主に帰属する 当期純利益	-571	373	945	-
為替	円/ドル	110.71	122.39	11.68(円安)	10.6%
	円/パーツ	3.54	3.68	0.14(円安)	4.0%
	円/ドン	0.0045	0.0050	0.0005(円安)	11.1%

新型コロナウイルス感染拡大影響からの回復により、増収増益

(為替換算影響 売上高 +1,117百万円 営業利益 +3百万円)

セグメント情報

(金額単位：億円)



Ⅱ.2023年3月期 連結業績見通し



		22年3月期 実績	23年3月期 見通し	差異	増減率
連結	売上高	29,671	33,000	3,329	11.2%
	営業利益	1,297	1,400	103	7.9%
	経常利益	1,291	1,400	109	8.4%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	373	700	327	87.3%
為替	円/ドル	122.39	115.00	-7.39(円高)	-6.0%
	円/パーツ	3.68	3.50	-0.18(円高)	-4.9%
	円/ドン	0.00500	0.00480	-0.0002(円高)	-4.0%

サプライチェーンの混乱による生産調整、
また不安定な海外情勢による原材料等の価格高騰が見込まれるものの
新型コロナウイルス影響からの回復により増収増益

1. タナカフィロソフィー
2. 2030ビジョン
3. マテリアリティの特定
4. 基本方針
5. 組織体制
6. 部品製造事業部
7. ソリューション事業部
8. モビリティ事業部
9. Co2削減目標
10. 業績目標

1. タナカフィロソフィー

～経営理念～

1. 社員が自身の夢実現に向けて努力できる会社にする
2. お客様に対して優秀品を最も良心的に提供する会社にする
3. 社会一般からも信頼される会社にする

2. 2030ビジョン

Change the Future

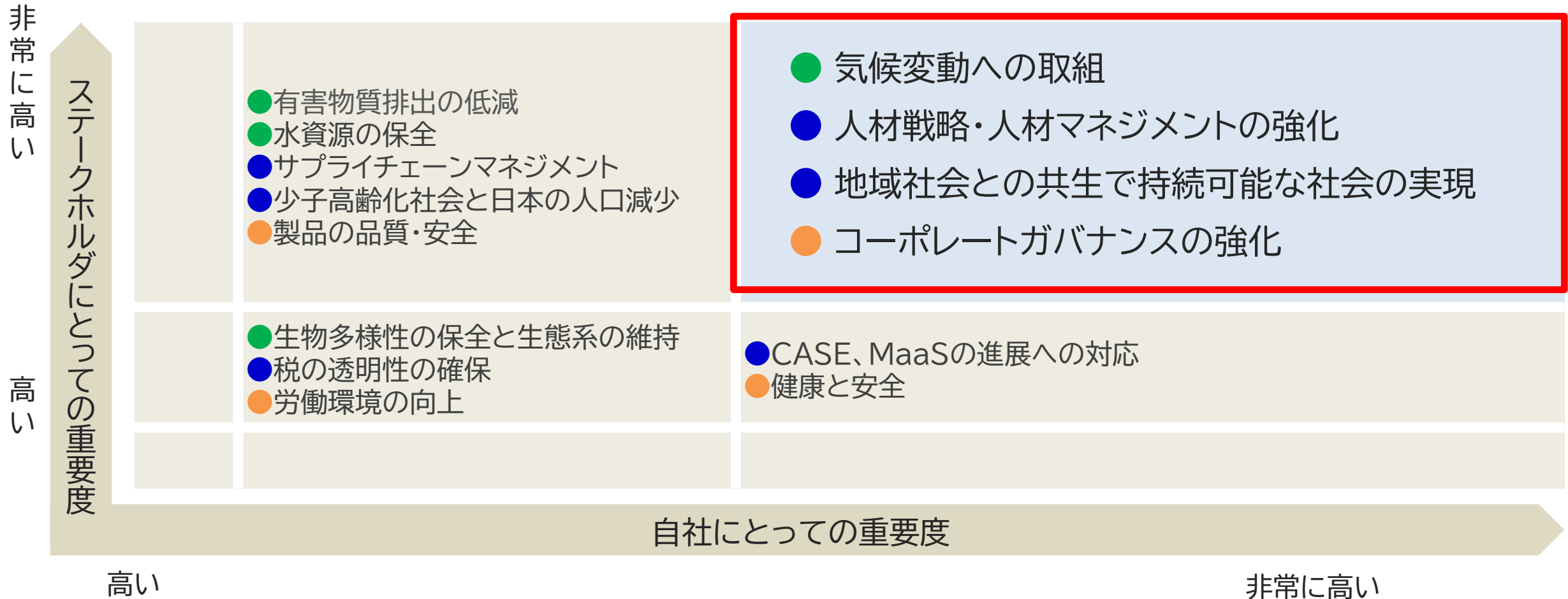
～技術と創造力で新時代に新価値を提供します～

技術とその源泉である従業員の**創造力**を基盤に、持続可能で豊かな社会に**貢献**

3. マテリアリティの特定

- 持続的な成長に向けてマテリアリティに対応

分類： ●環境 ●社会 ●ガバナンス



4. 基本方針

部品製造事業の「深化」
モビリティ事業の「強化」
＋
新領域事業の「探索」

4. 基本方針

部品製造事業の「深化」

QCDの深掘りで
モノづくり領域の収益力強化

新領域事業の「探索」

モノづくりソリューションの
事業拡大と新たなコアコン
ピタンスを開発し、
中核事業へ

モビリティ事業の「強化」

BtoC事業としての
有形・無形の資産による
Gr.内シナジーの発揮

5. 組織体制

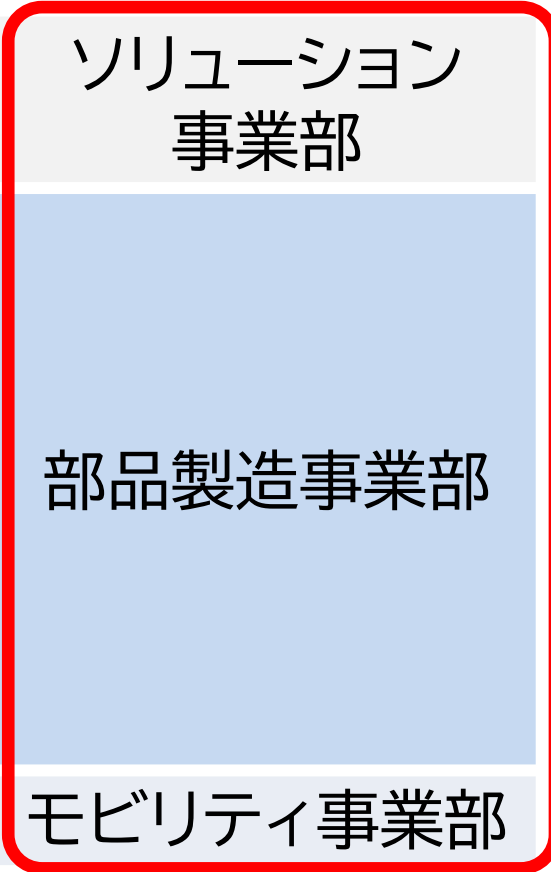
- 事業部制に変更し各事業部の役割明確化、成果の透明性向上
- 各事業部に適したマネジメント体制の構築

2022年3月まで

機能本部	営業部
	事業開発部
	技術部
生産本部	管理部
	生産業務部
	製造部（本社、婦中）
	品質保証部
	タナカエンジニアリング
	海外子会社
販売本部	ホンダ自販タナカ

2022年4月以降

事業開発部
タナカエンジニアリング
管理部
部品技術部
営業部
生産業務部
製造部（第一、第二）
品質保証部
海外子会社
ホンダ自販タナカ



6. 部品製造事業部

人材を基盤に各領域のベクトルを合わせて総合力で深掘りを進める

営業・技術開発戦略

- 顧客の拡大
- 電動車向け製品営業強化
- 軽量化、低コスト化
- 高機能製品開発 (Assy、Module など)

生産戦略

- スマートファクトリー化の促進
- 抜本的な生産拠点再編検討

人材戦略

- 役割人事制度の導入
- 人材マネジメントシステムの再検討



アルミダイカスト製品



スマートファクトリー化

7. ソリューション事業部

- ・ 戦略事業を中心に、ニーズ(社会課題)とスピードを重視
- ・ 「探索」領域の事業として成長していけるマネジメントの構築

「戦略事業」としての位置づけ

自動化設備事業

- モノづくりの現場で培った課題解決力

モーターコア・モーター部品製造技術事業

- 独自の接着積層技術によるモーター高効率化およびモーター製造における生産性向上、環境負荷低減

営業・技術開発戦略

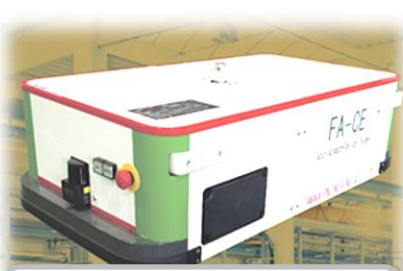
- 自動車産業に限定しない市場ニーズの調査
- 市場要求に応えるスピード
- 他社とのアライアンス推進

人材戦略

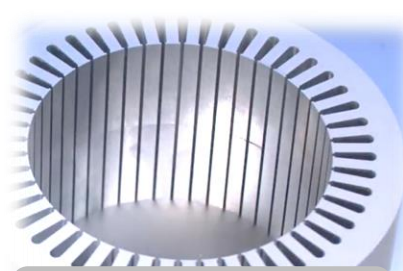
- 多様性、柔軟性、自発性をより重視
- 社内異動、外部採用両面からの人材確保



自動組み立て機



無人搬送機



接着積層技術

8. モビリティ事業部

外部環境トレンド

- EV化の進展
- 少子高齢化
- 自動車の所有から利用へ

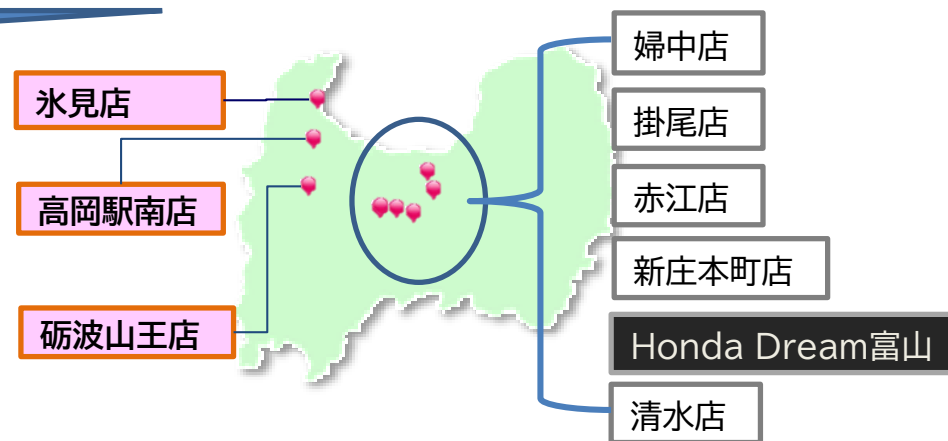
基本対応

- 設備投資、店舗投資
- デジタル技術の導入
- レンタル事業の拡大

高岡ホンダ自販(株)との合併 (2022年4月1日)

財務基盤の強化
地域・顧客基盤の強化

富山県西部にHondaCars店
3店舗増加



モビリティライフ全般の提案



レンタルなど自動車の所有から利用を見据えたサービス強化
幅広い世代へモビリティライフを提供しお客様との繋がり強化



9. CO₂削減目標

目標

2030年 CO₂排出量^{※1} △46% (2019年度比)

2050年 カーボンニュートラルの実現

※1 : Scope1 + Scope2

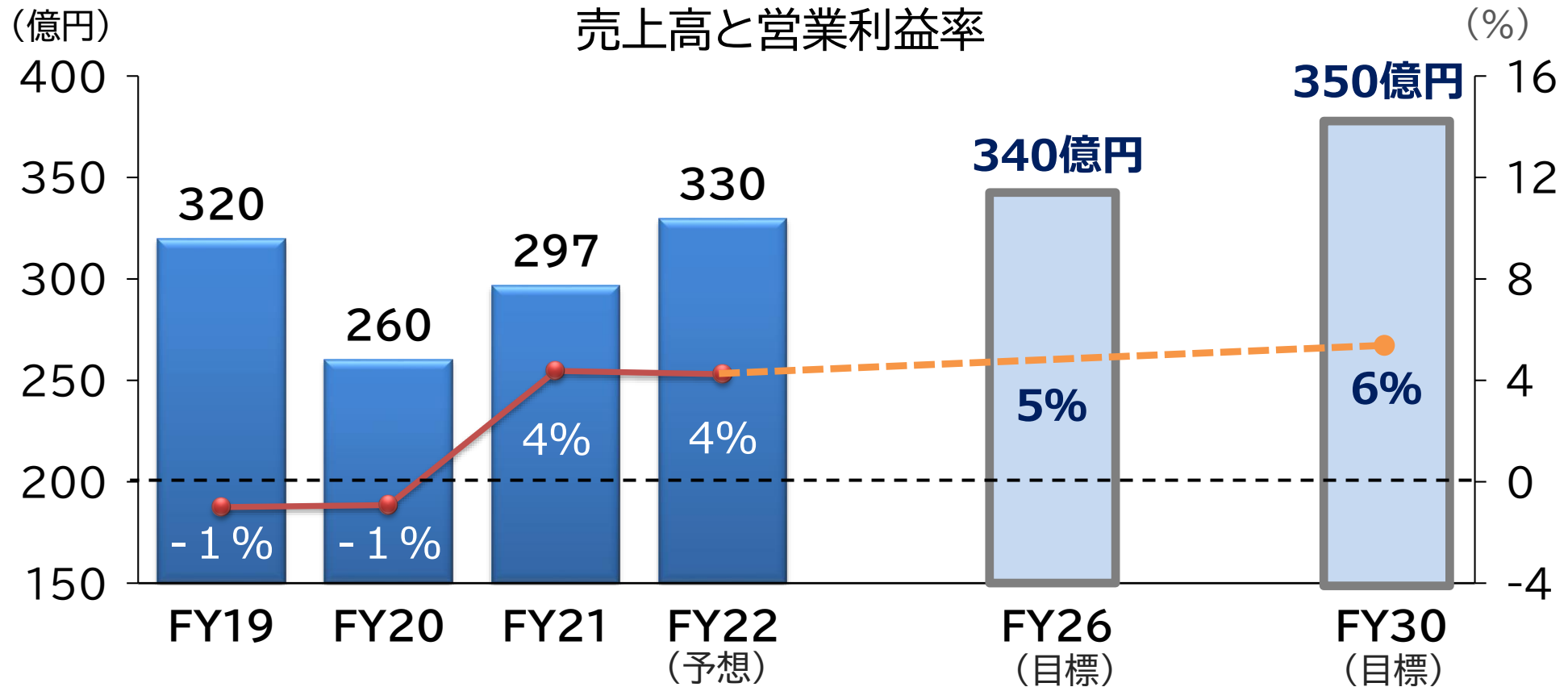
取り組み分野

対応

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. 製品の利用におけるCO ₂ 排出削減 | • EVやHEVなどの電動車向け製品の拡大 |
| 2. 生産におけるCO ₂ 排出削減 | • 日常改善活動のさらなる推進
• 設備更新時、新規導入時における最新の省エネ技術の積極導入 |
| 3. 生産における再生可能エネルギーの導入 | • 地域特性に応じた再生可能エネルギーの活用 |

10. 業績目標

部品製造事業の収益力向上とソリューション事業の成長へ積極投資





TANAKA

田中精密グループ